2019.4.10
点検

別記様式第１

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書

年　月　日

防府市消防長（署長）

殿

届出者

住　所

氏　名　　㊞

電話番号

下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。

記

防火対象物	所在地	防府市大字西浦字潮合１５４番１
	名称	㈱藤商　防府工場
	用途	１４項　倉庫
	構造・規模	鉄骨　造　地上　２階　地下　階 床面積　㎡　延べ面積　㎡
点検期間		30年 10月から　31年 3月まで（　年　月から　年　月まで）
消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類等		消火器、自動火災報知設備
点検票		別添のとおり

点検者	住所	防府市大字浜方８番地５			社名	株式会社　初田消火器	
	氏名	山内　清隆			電話番号	0835-22-3160	
	点検資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況	
					交付番号	受講地	受講年月
			㊞・㊟ 4・6 種類	福岡　都道 山口　府㊞県	H30 H27年 2 3月 23 11日 第 00102 00001 号	都道 山口　府㊞県	H28年10月
		消防設備点検資格者	種類		交付年月日	再講習受講状況	
					交付番号	受講年月	
			特・第１・第２種		年月日 第　号	年　月	

※受付欄	※経過欄	※備考

備考
1　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
2　点検者が複数の場合は、別記様式第３に記入し、添付すること。
3　消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
4　※印欄は、記入しないこと。
5　点検期間のうち、消防用設備等と同時に特殊消防用設備等を点検する場合、その点検期間を（　）へ記入すること。
6　住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社（会社以外の法人に所属する場合は当該法人）に所属する場合には、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。

別記様式第３

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点検者

				設備名
住所	防府市大字浜方８番地５	社名	株式会社　初田消火器	自動火災報知設備
氏名	山内　清隆	電話番号	0835-22-3160	

資格

消防設備士

種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況	
		交付番号	受講地	受講年月
(甲)・種４類　乙	福岡　都道府(県)	H30年 2月23日	都道府県	年　月
		第 00102 号		

消防設備点検資格者

種類	交付年月日	再講習受講状況
	交付番号	受講年月
特種	年月日	年　月
	第　号	
第１種	年月日	年　月
	第　号	
第２種	年月日	年　月
	第　号	

				設備名
住所	防府市大字浜方８番地５	社名	株式会社　初田消火器	消火器
氏名	山内　清隆	電話番号	0835-22-3160	

資格

消防設備士

種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況	
		交付番号	受講地	受講年月
甲・種６類　(乙)	山口　都道府(県)	H27年 3月11日	山口　都道府(県)	H28年10月
		第 00001 号		

消防設備点検資格者

種類	交付年月日	再講習受講状況
	交付番号	受講年月
特種	年月日	年　月
	第　号	
第１種	年月日	年　月
	第　号	
第２種	年月日	年　月
	第　号	

				設備名
住所		社名		
氏名		電話番号		

資格

消防設備士

種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況	
		交付番号	受講地	受講年月
甲・種　類　乙	都道府県	年　月　日	都道府県	年　月
		第　号		

消防設備点検資格者

種類	交付年月日	再講習受講状況
	交付番号	受講年月
特種	年月日	年　月
	第　号	
第１種	年月日	年　月
	第　号	
第２種	年月日	年　月
	第　号	

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社（会社以外の法人に所属する場合は当該法人）に所属する場合には、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。
３　資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の区分、種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習（再講習）受講年月日を記載すること。

別記様式第２

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表

（その１）

名　称	㈱藤商　防府工場	防　火 管理者	㊞
所在地	防府市大字西浦字潮合１５４番１	点検実施 責任者	表示登録会員番号　35-1-011 株式会社　初田消火器 防府市大字浜方８番地５ 山内　清隆 Tel：0835-22-3160
点検種別	~~機器点検~~・総合点検・ （設備等設置維持計画による点検）	点検年月日	31 年　4 月　10 日 ～　31 年　4 月　10 日

設備名	点検結果		措置内容	立会者
	判定	不良内容		
消火器	㊁・不良			㊞
自動火災報知設備	㊁・不良			㊞

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
　　２　判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合には「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。
　　３　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

点 検 結 果 判 定 概 要 表

物件名：　㈱藤商　防府工場

消 防 設 備 名	判　　定　　内　　容
消火器	異常ありません。
自動火災報知設備	異常ありません。

備考　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。

別記様式第１１

（その１）

自動火災報知設備点検票

名称	㈱藤商　防府工場	防火管理者	㊞
所在	防府市大字西浦字潮合１５４番１	立会者	㊞
点検種別	機器・総合	点検年月日	31 年 4 月 10 日 ～ 31 年 4 月 10 日
点検者	資格：甲種4類福岡県　番号：00102 氏名：山内　清隆　㊞	点検者所属会社	社名：株式会社　初田消火器　TEL：0835-22-3160 住所：防府市大字浜方８番地５
点検設備名	受信機	製造者名	能美防災（株）
		型式等	ＦＡＰ－２３２　受第１０－２９号

点検項目			点検結果 種別・容量等の内容	判定	不良内容	措置内容
機器点検						
予備電源（非常電源・内蔵型）	外形		Ｎｉ－ｃｄ蓄電池	○		
	表示		24V 0.225AH/5HR	○		
	※端子電圧		２７．６Ｖ	○		
	※切替装置			○		
	※充電装置			○		
	※結線接続			○		
受信機・中継器	周囲の状況		事務所	○		
	外形		Ｐ型２級	○		
	表示			○		
	警戒区域の表示装置		３／５	○		
	電圧計		Ｖ	／		
	スイッチ類			○		
	ヒューズ類		0.1，0.5，１Ａ	○		
	※継電器			○		
	表示灯			○		
	通話装置			／		
	※結線接続			○		
	接地		Ｄ種	○		
	附属装置		機械警備	○		
	※火災表示等	蓄積式		○		
		アナログ式		／		
		二信号式		／		
		その他		／		
	※注意表示			○		
	回路導通			／		
	設定表示温度等			／		
	感知器作動等の表示			○		
	予備品等			○		

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
６　票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあっては記入不要。

別記様式第１１

自動火災報知設備（その２）

感知器	外形				○		
	警戒状況	未警戒部分			○		
		感知区域			○		
		適応性			○		
		機能障害			○		
	※熱感知器	スポット型		定温(再) 熱アナログ	○		
		分布型	空気管式		○		
			熱電対式・熱半導体式		／		
		感知線型			／		
	※煙感知器	スポット型		イオン 光電 アナログ	／		
		分離型			／		
	※炎感知器			赤外線 紫外線	／		
	※多信号感知器・複合式感知器				／		
	遠隔試験機能を有する感知器				／		
発信機	周囲の状況				○		
	外形			P型２級	○		
	表示				○		
	押しボタン・送受話器				○		
	表示灯			２４Ｖ	○		
音響装置	外形				○		
	取付状態				○		
	音圧等				○		
	鳴動方式			一斉 区分 相互 再鳴動	○		
※蓄積機能					○		
※二信号機能					／		

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
６　自動試験機能を有するものにあっては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
７　表中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあっては記入不要。

別記様式第１１

自動火災報知設備（その３）

自動試験機能	予備電源・非常電源		／		
	受信機の火災表示		／		
	受信機の注意表示		／		
	受信機・中継器の制御機能・電路		／		
	感知器		／		
	感知器回路・ベル回路		／		
無線機能			／		
総合点検					
同時作動					
※煙感知器等の感度					
地区音響装置の音圧					
※総合作動					
備考					

測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	加熱試験器	ＨＫ－３	H30.4.1	火報工業会	メーターリレー試験器	MT-10S	H30.4.1	沖電気工業
	加煙試験器	FTG011	〃	能美防災	炎感知器用作動試験器			
	外部試験器	FTF014	〃	〃	マノメーター	NT-T-1	H30.4.1	ニッタン
	煙感知器用感度試験器	JAF-Ⅱ－A	〃	火報工業会	空気注入試験器	NT-T-1	〃	ニッタン
	減光フィルター	NFL-F1	〃	ニッタン	回路計	3200	〃	日置電気

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
６　自動試験機能を有するものにあっては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
７　票中※の欄は、自動試験機能を有するものにあっては記入不要。

別記様式第１１

自動火災報知設備（その５）

警戒区域		感知器																	※地区音響装置	発信機	点検結果
		差動式				定温式		熱アナログ式スポット型	※煙式												
		※分布型			スポット型	スポット型	※感知線型		スポット型						分離型						
									イオン化式		光電式		イオン化アナログ式	光電アナログ式	光電式		光電アナログ式				
番号 No.	名称	空気管式	熱電対式	熱半導体式					非蓄積	蓄積	非蓄積	蓄積			非蓄積	蓄積					
1	１階				4														1	1	○
2	作業場　北	2																	1	1	○
3	〃　南	2																	1	1	○
4-5	アキ																				
合計		4			4														3	3	

備考	

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
３　※印のあるもので不良のものは、（その７）に機器ごとの点検結果を記入すること。
４　点検結果の欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
５　警戒区域内の感知器の個数が１の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

別記様式第１１

自動火災報知設備（その７）

警戒区域		種別	製造番号	差動式分布型										定温式感知線型		煙感知器	音響装置	措置内容
				空気管式						熱電対式		熱半導体式						
番号 No.	名称			空気管長	送気	作動	継続	水高H／2	流通	作動	回路抵抗	作動	回路抵抗	回路抵抗	絶縁抵抗	感度 濃度	音圧	
				m	cc	秒	秒	mm	秒	mV	Ω	mV	Ω	Ω	MΩ	度	dB	
2	作業場　北	〃	059555	87	3.0	3	37											
		〃	056933	90	〃	3	37											
3	作業場　南	〃	059554	87	〃	3	35											
		〃	059553	90	〃	3	35											
備考																		

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
　　２　措置欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
　　３　種別又は製造番号が示されないものは、記入しないこと。

別記様式第２６

配　線　点　検　票（設備名 自動火災報知設備　）

名　称	㈱藤商　防府工場	防火管理者	㊞
所　在	防府市大字西浦字潮合１５４番１	立会者	㊞

点検種別	総合	点検年月日	31 年 4 月 10 日 ～ 31 年 4 月 10 日
点検者	資格 甲種4類福岡県　番号 00102 氏名 山内　清隆 ㊞	点検者所属会社	社名 株式会社　初田消火器　TEL 0835-22-3160 住所 防府市大字浜方８番地５

点検項目	点検結果 種別・容量等の内容	判定	不良内容	措置内容
総合点検				
専用回路	休憩室分電盤	○		
開閉器・遮断器	ＮＦＢ　２０　Ａ	○		
ヒューズ類		○		
絶縁抵抗	常用　∞ ＭΩ非常　ＭΩ	○		
耐熱保護		○		

備考

測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	絶縁抵抗計		H30.4.1	共立電気				

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第１

（その１）

消　火　器　具　点　検　票

設置階　１－２　階

名　　称	㈱藤商　防府工場	防火管理者	㊞
所　　在	防府市大字西浦字潮合１５４番１	立会者	㊞
点検種別	~~機器点検~~	点検年月日	31 年 4 月 10 日 ～ 31 年 4 月 10 日
点検者	資格：乙種6類山口県　番号：00001 氏名：山内　清隆 ㊞	点検者所属会社	社名：株式会社　初田消火器　TEL：0835-22-3160 住所：防府市大字浜方８番地５

点検項目		点検結果：消火器の種別 A	B	C	D	E	F	判定	不良内容	措置内容
機器点検										
設置状況	設置場所	○						○		
	設置間隔	○						○		
	適応性	○						○		
	耐震措置	／						／		
表示・標識		○						○		
消火器の外形	本体容器	○						○		
	安全栓の封	○						○		
	安全栓	○						○		
	使用済みの表示装置	○						○		
	押し金具・レバー等	○						○		
	キャップ	○						○		
	ホース	○						○		
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○						○		
	指示圧力計	／						／		
	圧力調整器	／						／		
	安全弁	／						／		
	保持装置	○						○		
	車輪（車載式）	／						／		
	ガス導入管（車載式）	／						／		

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Ａは粉末消火器、Ｂは泡消火器、Ｃは強化液消火器、Ｄは二酸化炭素消火器、Ｅはハロゲン化物消火器、Ｆは水消火器をいう。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第１

消火器具（その２）

消火器の内部等・機能	本体・内筒等	本体容器	○						○		
		内筒等	／						／		
		液面表示	／						／		
	消火薬剤	性状	○						○		
		消火薬剤量	○						○		
	加圧用ガス容器		○						○		
	カッター・押し金具		○						○		
	ホース		○						○		
	開閉式ノズル・切替式ノズル		／						／		
	指示圧力計		／						／		
	使用済みの表示装置		○						○		
	圧力調整器		／						／		
	安全弁・減圧孔（排圧栓を含む。）		○						○		
	粉上り防止用封板		○						○		
	パッキン		○						○		
	サイホン管・ガス導入管		○						○		
	ろ過網		／						／		
	放射能力		／						／		
消火器の耐圧性能			／						／		
簡易用消火具	外形		／						／		
	水量等		／						／		

備考	

測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	秤	手秤	H30.4.1					

器種名	設置数	点検数	合格数	要修理数	廃棄数
ＡＢＣ粉末消火器	6	6	6	0	0

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Ａは粉末消火器、Ｂは泡消火器、Ｃは強化液消火器、Ｄは二酸化炭素消火器、Ｅはハロゲン化物消火器、Ｆは水消火器をいう。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消　火　器　具　調　査　表

名　称　㈱藤商　防府工場　　所在地　防府市大字西浦字潮合１５４番１

番号	階	設置場所	消火器の種別						製造会社名	型式番号	製造番号	製造年月	判定	措置内容
			A	B	C	D	E	F						
1	1	事務所	10						能美防災	23-123	11581	2011	○	H27.4　充填
2	〃	工場①	〃						〃	〃	11578	〃	○	H27.10　充填
3	〃	〃　②	〃						〃	〃	10659	〃	○	H28.4　充填
4	〃	〃　③	〃						〃	〃	10658	〃	○	H28.10　充填
5	〃	〃　④	〃						〃	〃	10634	〃	○	H29.10　充填
6	2	工場２階	〃						〃	〃	10635	〃	○	H29.4　充填

注１．消火器具の種別欄には、該当するものについて6型・10型の呼称名を記入すること。
　　Ａは粉末消火器、Ｂは泡消火器、Ｃは強化液消火器、Ｄは二酸化炭素消火器、Ｅはハロゲン化物消火器、Ｆは水消火器をいう。
注２．判定欄には、良好の場合には○印、不良の場合には×印措置済には⊗印を記入すること。
注３．放射点検を実施した消火器具については措置内容欄に◎印を記入すること。